



2016年3月期第3四半期 決算短信補足説明資料（追加）

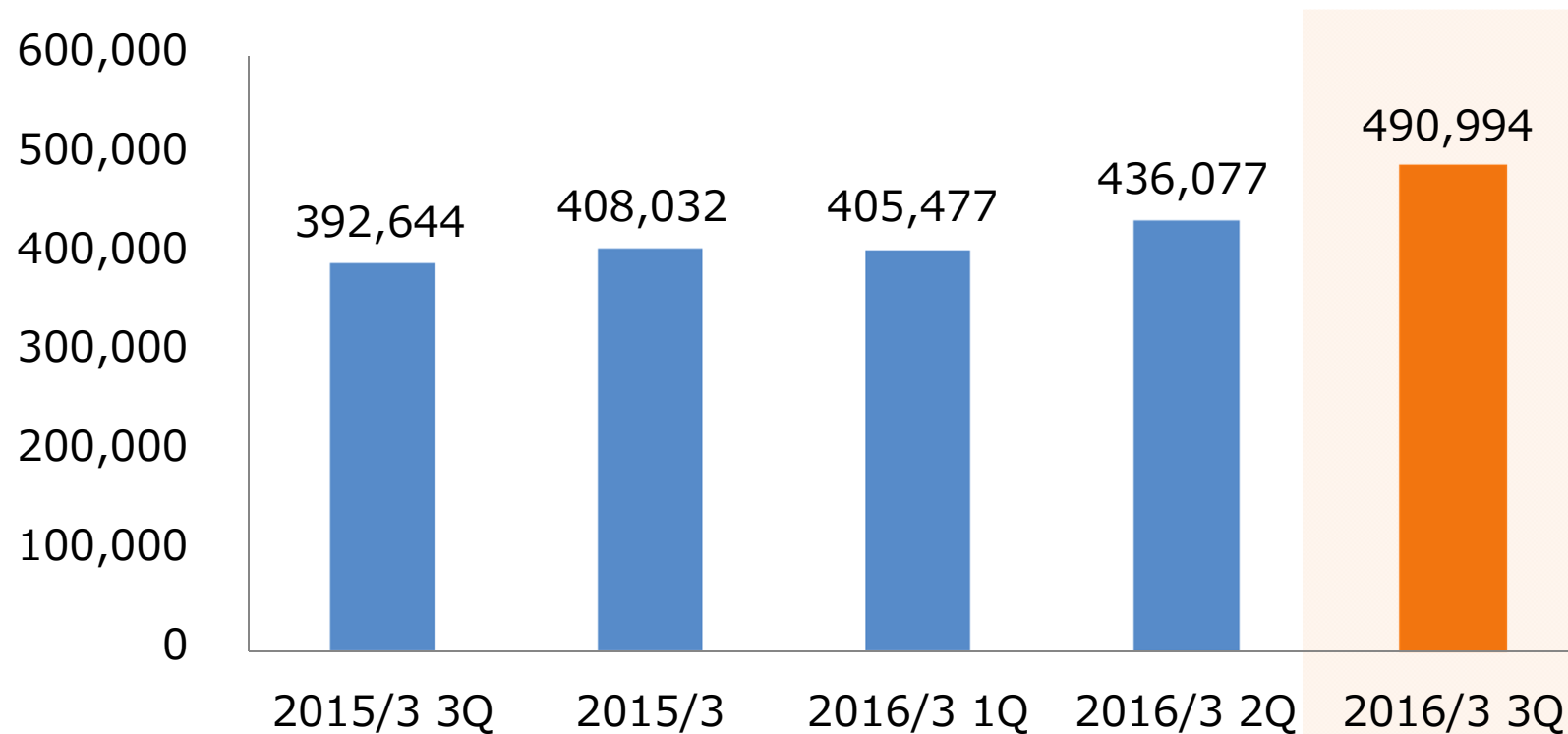
株式会社 F F R I （東証マザーズ：3692）

<http://www.ffri.jp>

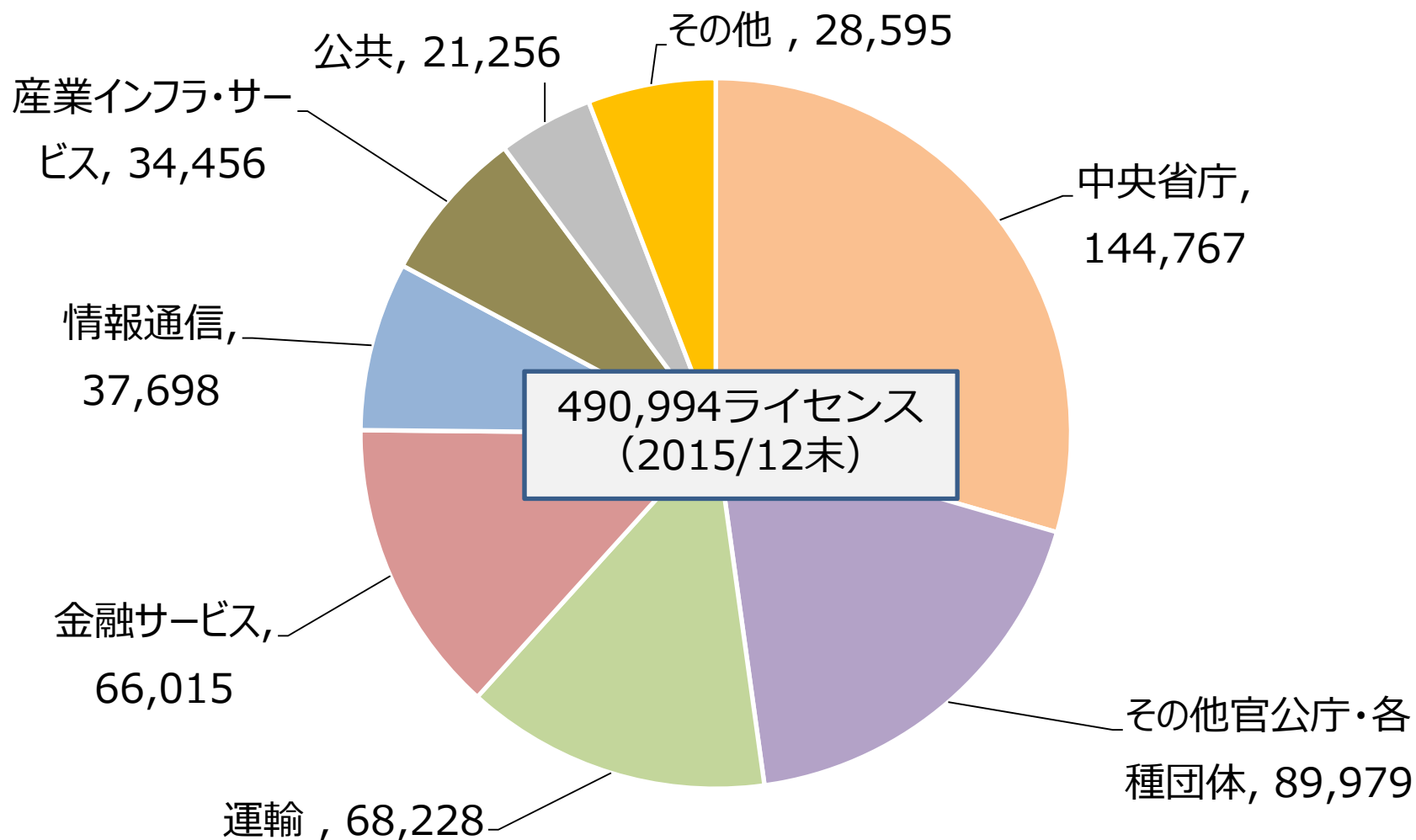
四半期毎の契約ライセンス数推移

FFR yarai

(単位：ライセンス)



業種別契約ライセンス数



原価及び販管費の内訳

(単位：百万円)

費用の種類	2015/3	3Q	2016/3	3Q
労務費		120		153
経費		51		58
期首・期末棚卸及び 他勘定振替		△83		△116
売上原価合計		87		95
人件費		162		209
広告宣伝費		7		384
研究開発費		41		65
販売手数料		0		66
その他		108		141
販管費合計		320		867

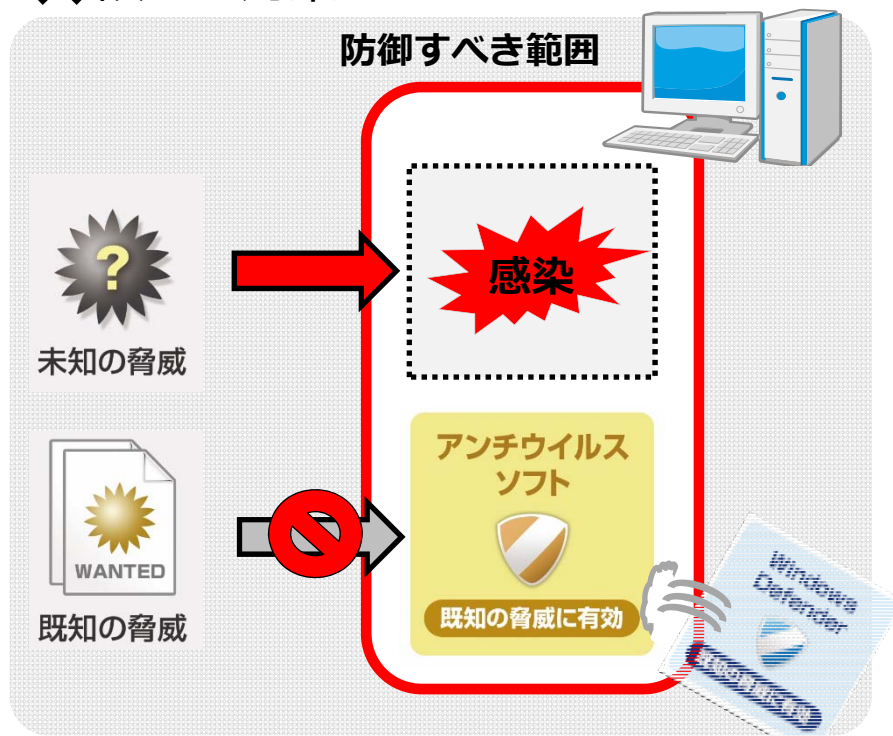
今後の取組み

- ・コンシューマーへの事業領域拡大により、すべてのユーザー層に対応できる製品ラインナップとなりました
- ・2016/3期はマーケティング活動による販売拡大に取り組めます

～2015/3	2015/4～2016/3	2016/4～
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究開発の実施 ・ 法人・官公庁向け体制整備・拡販 ・ コンシューマー向け製品リリース 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンシューマー向けマーケティング活動の実施 これまでの施策により認知度向上が確認できた 今後は上記に加えて製品理解の訴求と販売数拡大の施策を計画 ・ 法人・官公庁向け販売拡大 昨今のニーズの高まりを背景に引き合いが着実に増加 ・ 研究開発の実施 車載セキュリティ、iOSに関するセキュリティ研究 ・ 海外販売体制の構築・強化 製品の準備は完了済み、販売体制の構築に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究開発の実施 ・ コンシューマー向け製品の販売拡大 ・ 法人・官公庁向け販売拡大 ・ 海外展開本格化 ・ IoT等新規分野への展開

FFR yarai/FFRI プロアクティブ セキュリティにより、ウイルス対策市場の置換えを進めます

✕ 誤った対策



❑ Defender (無料) を市販のウイルス対策ソフト (有料) に置き換えても防御範囲は同じなため、未知の脅威は防げない

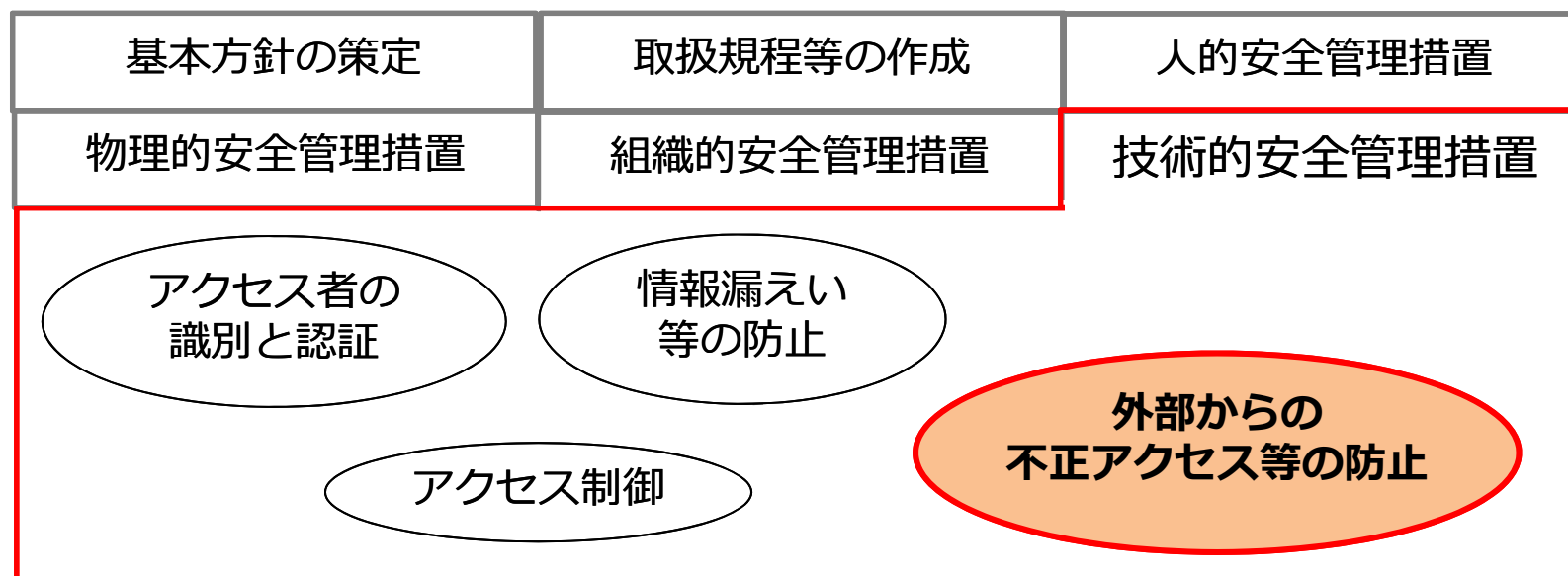
○ あるべき対策



❑ FFR yarai又はFFRI プロアクティブ セキュリティを導入することで未知の脅威を防御可能

マイナンバー制度開始のニーズへ対応

内閣府のガイドラインでは、情報システムを外部脅威から保護する仕組みを導入し、適切に運用することが求められています。



<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や弊社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。